



# オープンアクセスと リポジトリ

筑波大学附属図書館 中原由美子

平成30年9月21日（金）

平成30年度国立大学図書館協会東京地区協会・

関東甲信越地区協会合同フレッシュパーソンセミナー

# 講師経歴

筑波大学（2年）

- 相互利用担当

千葉大学（2年）

- アカデミック・  
リンクグループ
- 和雑誌の契約
- リポジトリ
- 広報

筑波大学（2.5年）

- リポジトリ担当



# 概要

定義と沿革

オープン  
アクセス？

リポジトリ？

セルフ  
アーカイブ？

RDM？



やたらと専門用語が多い気がする  
リポジトリ界隈

# オープンアクセス (Open Access, OA)

- 学術情報（特に査読つき学術雑誌に掲載された論文）を、インターネットを通じて誰もが無料で閲覧可能な状態に置くこと
- オープンアクセスに関するブダペスト宣言 (Budapest Open Access Initiative, Feb 14, 2002)
  - <http://www.budapestopenaccessinitiative.org/>

# 沿革

- シリアルズ・クライシス (Serials crisis)



学術雑誌の価格高騰  
(1970年代～1990年代後半ピーク)

- 電子ジャーナルの導入と利用増大
- 商品の特殊性：代替不可能
- 論文数の増加（ページ数・タイトル数ともに）
- 商業出版社による市場独占
- 価格が上昇しても需要に変化はない
- 大学図書館の予算圧縮
- ビッグ・ディール契約

外国雑誌の  
継続購入が困難に

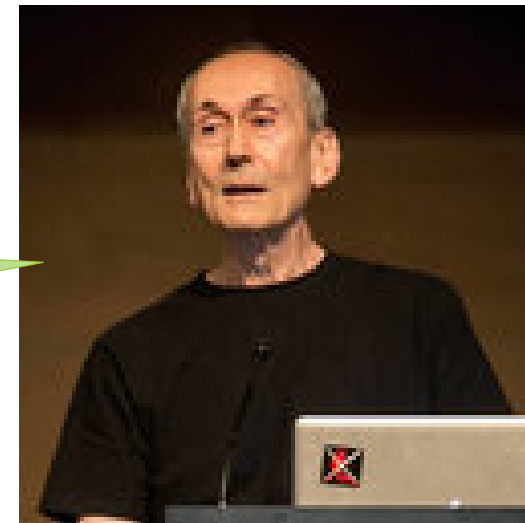
# 沿革

- 転覆提案 (Subversive Proposal, Jun 27, 1994)
  - ハンガリー人の認知科学者スティーブン・ハーナッドがメーリングリスト上で投稿した文章のこと
  - <https://eprints.soton.ac.uk/253351/>

出版社が支配する体制を「転覆」させ、  
研究者がセルフアーカイブを用いて  
論文を公開するのがあるべき姿だ！

## セルフアーカイブ (Self-Archive)

デジタル文書の無料のコピーを  
オープンアクセスに供するために  
ウェブ上に置くこと



Steven Harnad, 1945.6.2.~  
<https://www.ecs.soton.ac.uk/people/harnad>

# 沿革：世界の動向

- SPARC (Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition, 1998~)
  - 米国研究図書館協会が設立した図書館の国際連合
  - 学術出版社との交渉
- BioMed Central (2000~)
- PLoS (Public Library of Science, 2000~)
  - 既存の出版社に頼らない新たなオープンアクセスジャーナルを発行
- BOAI (2002)
  - 機関リポジトリの隆盛 → 日本へ波及



# オープンアクセスの分類

## オープンアクセス

グリーンオープンアクセス

ゴールドオープンアクセス

セルフアーカイブ

オープンアクセスジャーナル

プレプリント  
サーバ

機関リポジト  
リ

研究助成機関  
のアーカイブ

研究者個人の  
ホームページ

ハイブリッド  
型

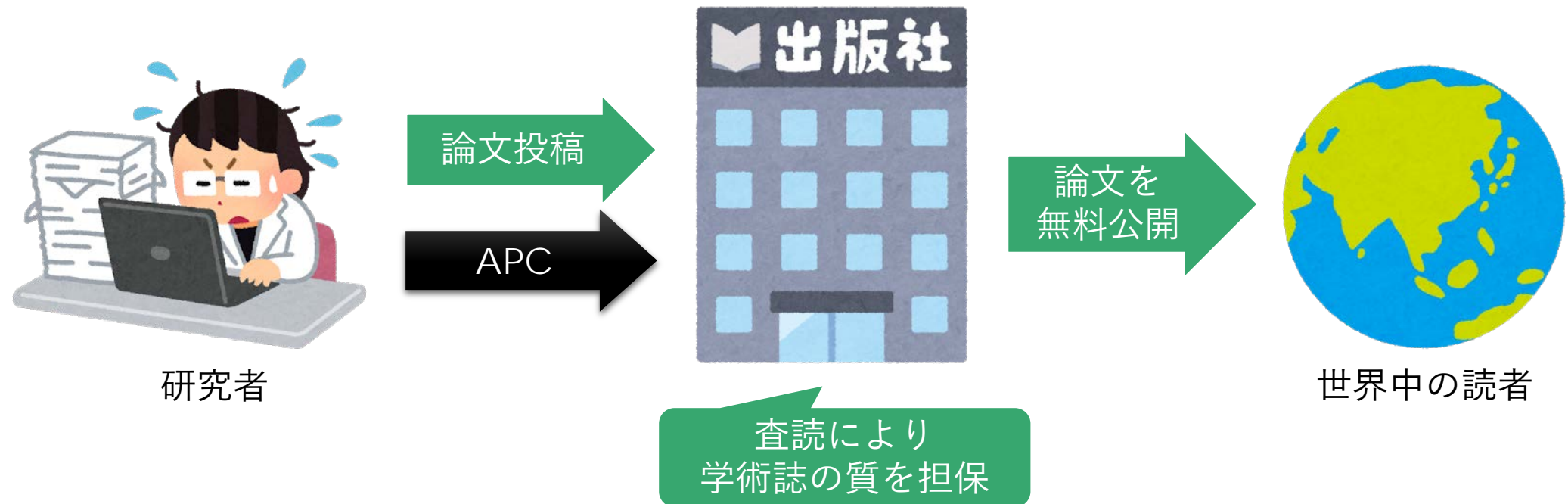
著者支払型

購読料振替型



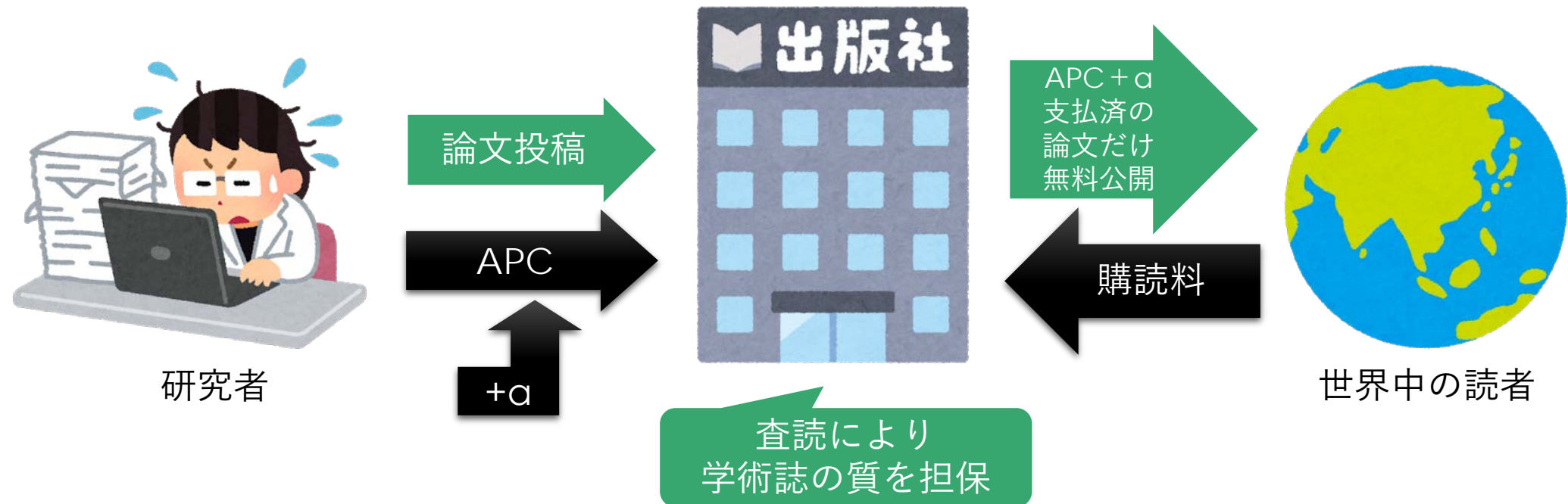
# オープンアクセスジャーナルのビジネスモデル

- 著者支払型



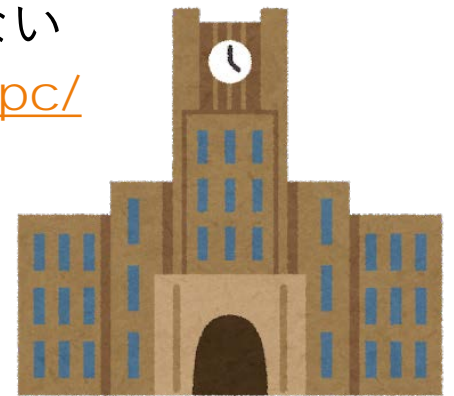
# オープンアクセスジャーナルのビジネスモデル

- ハイブリッド型



# オープンアクセスジャーナルの問題点

- 高額な論文掲載料 (APC)
  - 査読にかかる多大なコスト回収
  - 著作者が自分の著作論文を読めない!?
  - ハイブリッドジャーナルの二重取り (購読料 + APC)
  - 研究費に乏しい研究者が論文を発表できない
    - 支払い免除を申請できるジャーナルもあるが...
    - 問題視されてはいるがAPC支払総額を把握している機関は少ない
      - SPARC Japanの調査 (2015) : <https://www.nii.ac.jp/sparc/apc/>
      - 京都大学の調査 (2015) : 2014年、大学全体で総額6,700万円
        - <http://hdl.handle.net/2433/210594>



# オープンアクセスジャーナルの問題点

- ハゲタカ出版 (predatory journals / publisher)
  - 読者から収入を得られない出版形態
  - OAジャーナルで利益を出すには？
    - 査読をなくす
    - 全投稿論文を採用 } ジャーナルの質の低下
  - 研究者にとって
    - 「国際誌での研究成果発表」実績づくり
    - 実際には評価低下、編集委員として名前を使われるケースも
  - BEALL'S LIST OF PREDATORY JOURNALS AND PUBLISHERS
    - <https://beallslist.weebly.com/>
  - 粗悪学術誌、九大が対策 学内で投稿自粛指導 (毎日新聞、2018.09.03.)
    - <https://mainichi.jp/articles/20180903/k00/00m/040/109000c>



# オープンアクセスの分類

## オープンアクセス

グリーンオープンアクセス

ゴールドオープンアクセス

セルフアーカイブ

オープンアクセスジャーナル

プレプリント  
サーバ

機関リポジ  
リ



研究助成機関  
のアーカイブ

研究者個人の  
ホームページ

ハイブリッド  
型

著者支払型

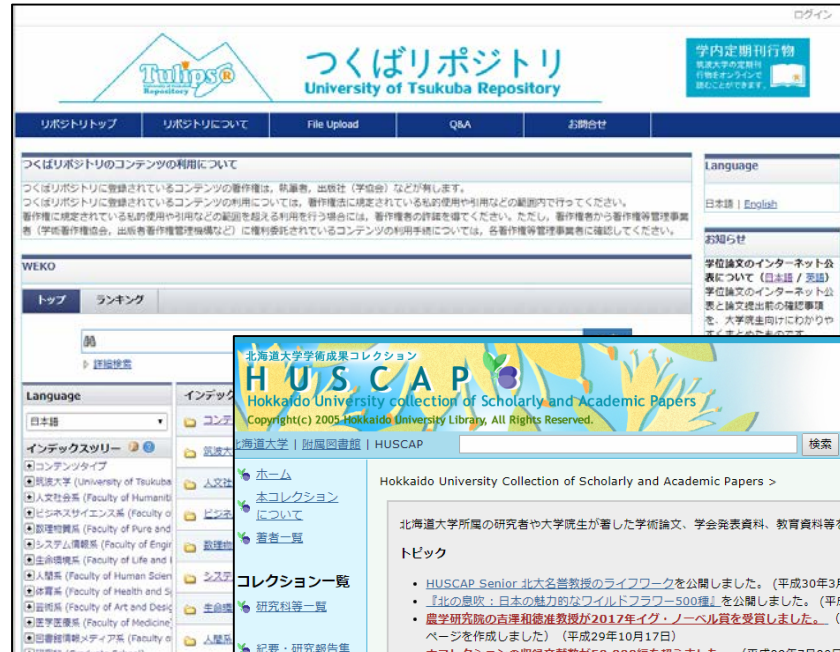
購読料振替型

# リポジトリ (Repository)

- repository : (名) 貯蔵所、倉庫、納骨堂、埋葬所、宝庫
- 電子コンテンツを収集・保存・発信するためのインターネット上のデータベース
- 機関リポジトリ (Institutional Repository)
  - その学術機関において生産された学術研究成果を、累積的かつ永続的に保管し、誰もが無料でアクセス可能にできるようにする
  - 機関リポジトリのほか、分野／地域リポジトリも存在する
- **グリーンオープンアクセス**を達成する手段のひとつ



# 筑波大学「つくばリポジトリ」



# 北海道大学「HUSCAP」

# 京都大学「KURENAI」



# 千葉大学「CURATOR」



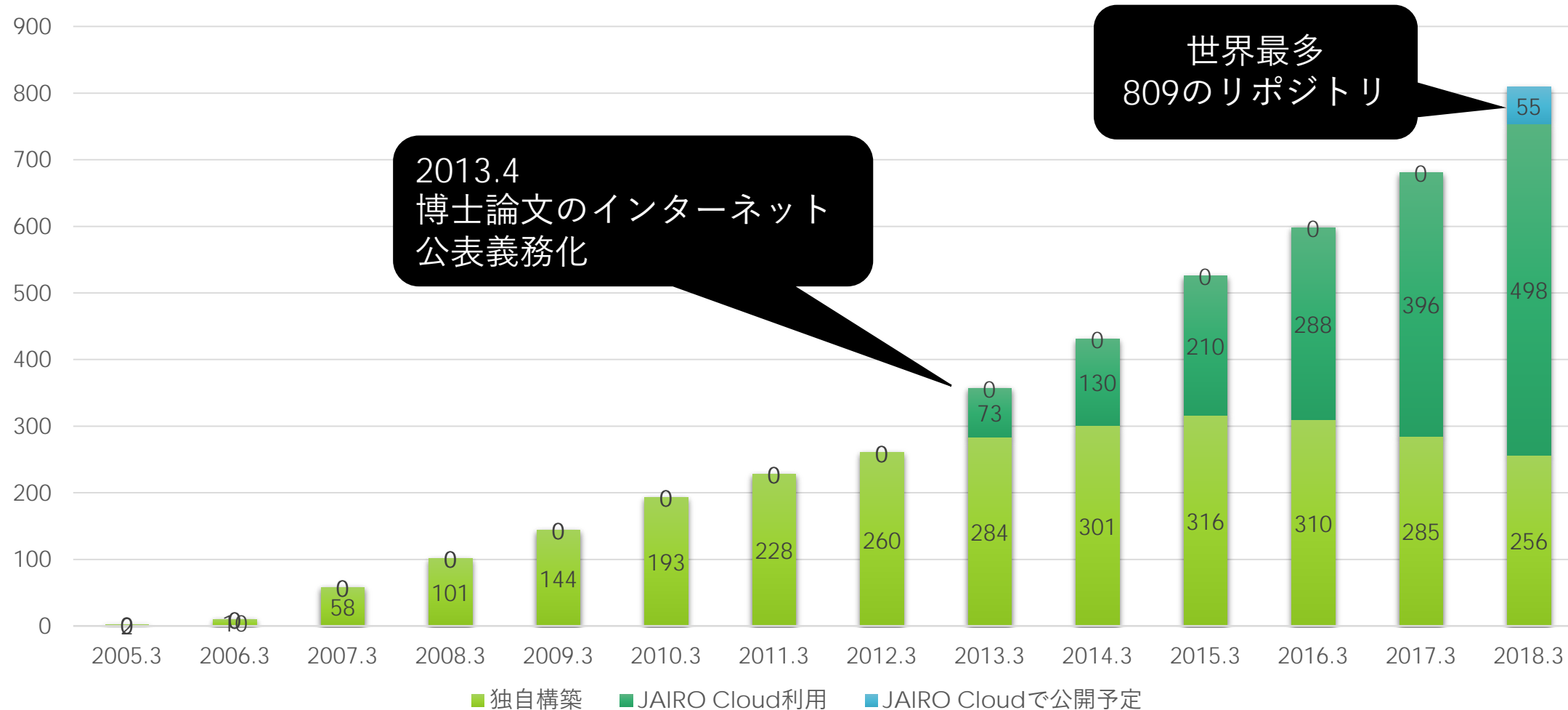
# リポジトリ (Repository)

- 社会にとって
  - 大学の研究動向の迅速な把握
- 大学にとって
  - 社会に対する説明責任の履行
  - 研究機関としての知名度（ブランド）の向上
  - 産学連携の推進
- 研究者にとって
  - 自らの研究成果のインパクトの向上
  - 自らの研究成果の管理・発信・保存のコスト削減



# 国内で公開している機関リポジトリの数

(国立情報学研究所調べ)



# リポジトリの役割

## 収集

- 所属研究者の著作論文
- 学位授与論文 等

## 保存

- 累積的・永続的
- 本文ファイルとメタデータ

## 発信

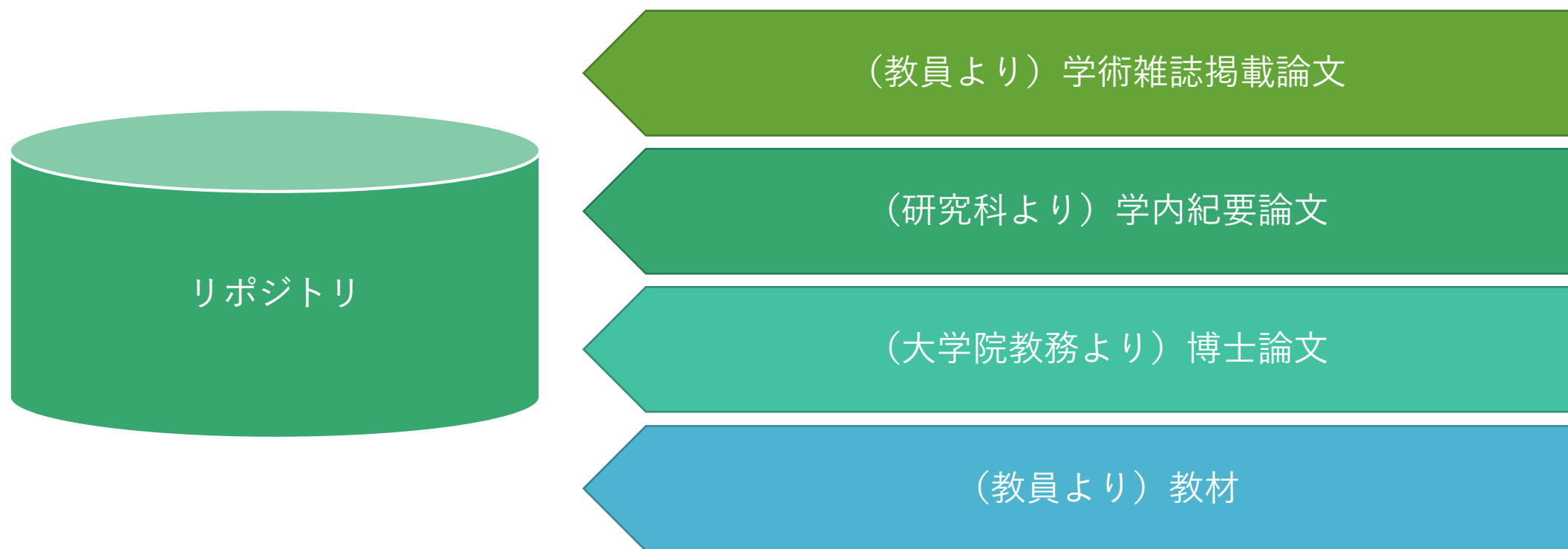
- 無料でアクセス可能
- 誰でもアクセス可能



# リポジトリ担当者の業務

収集・著作権調査・登録ほか

# リポジトリ担当者の業務（収集）



# リポジトリ担当者の業務（収集）

## 登録依頼

論文が受理された！  
リポジトリに  
登録をお願いします



研究者

## 職員の確認

著作権上  
問題ないか  
確認しますね



リポジトリ担当者

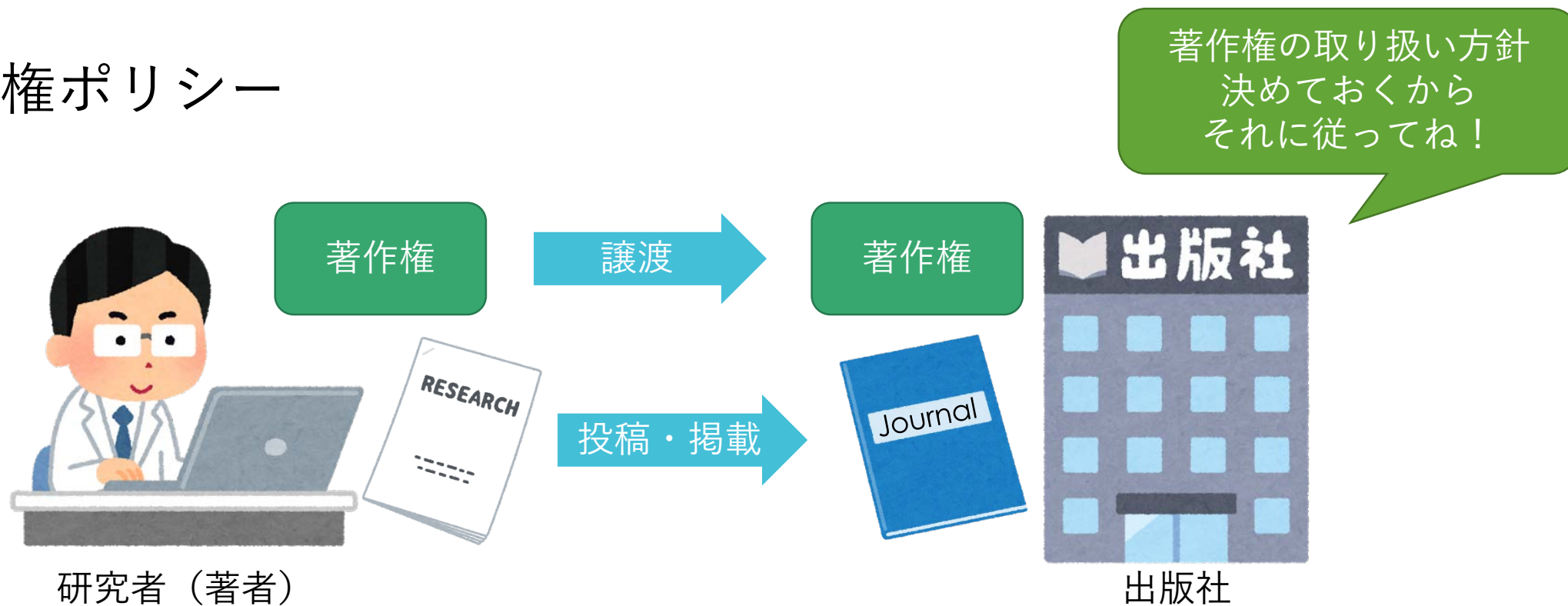
## 登録 & 公開



全世界から閲覧できる！

# リポジトリ担当者の業務（著作権調査）

- 著作権ポリシー



論文を機関リポジトリに登録（転載）するには  
著作権保持者の許諾が必要になる

# リポジトリ担当者の業務（著作権調査）

## 担当者が確認

- 出版社や学協会が公開している著作権ポリシーを確認
- 著作権ポリシーデータベースの利用



## 著者に確認を依頼

- 出版社や学協会との間で取り交わした「著作権譲渡契約書 (Copyright Transfer Agreement)」を確認
- 出版社や学協会に問い合わせ



# 学術雑誌の著作権規程

## • 例：Wiley's Self-Archiving Policy

エンバーゴ（登録禁止期間）を  
設けている出版社も多い

（例）当該号の発行から12ヶ月間は  
リポジトリ等における  
セルフアーカイブを禁じる等

Submitted (preprint) version  
＝ 査読※前の論文

※査読：  
同分野の専門家・研究者による  
評価や検証

The screenshot shows the 'Wiley's Self-Archiving Policy' page. Key sections include:

- Submitted (preprint) Version:** The submitted version of an article is the author's version that has not been peer-reviewed, nor had any value added to it by Wiley (such as formatting or copy editing). The submitted version may be placed on:
  - the author's personal website
  - the author's company/institutional repository or archive
  - not for profit subject-based preprint servers or repositories
- Author Compliance Tool:** Use our ACT to check self-archiving policies of Wiley journals.
- Accepted (peer-reviewed) Version:** Includes links for Terms and Conditions for Self-Archiving, Funder Requirements, and About this policy.
- Notice:** "This is the pre-peer reviewed version of the following article: [FULL CITE], which has been published in final form at [Link to final article using the DOI]. This article may be used for non-commercial purposes in accordance with Wiley Terms and Conditions for Self-Archiving."
- Disclaimer:** The version posted may not be updated or replaced with the accepted version (except as provided below) or the final version (the Version of Record). There is no obligation upon authors to remove preprints posted to not for profit preprint servers prior to submission.

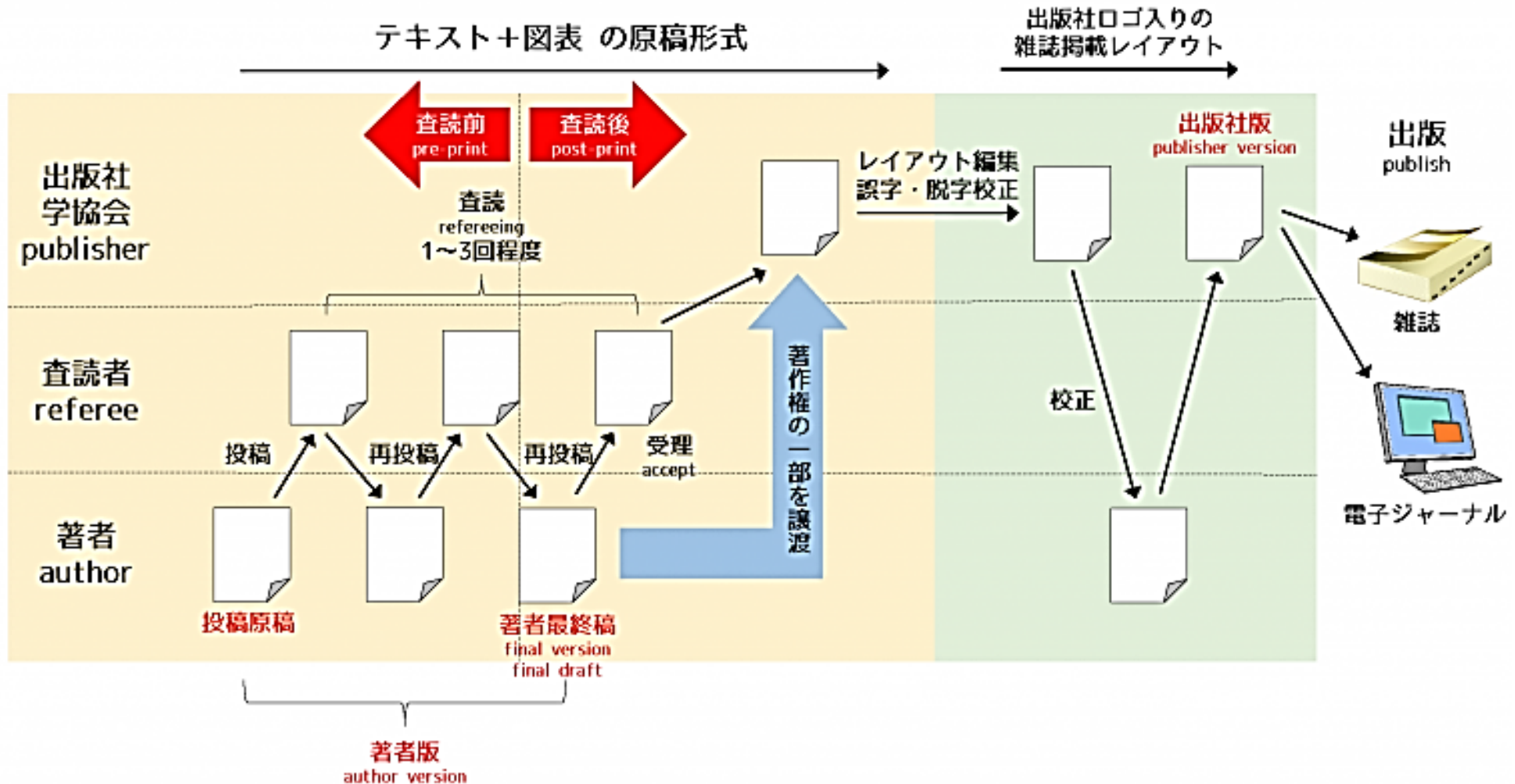
Annotations (green boxes) point to specific parts of the policy:

- One points to the 'Submitted (preprint) Version' section, explaining it is the version before peer review.
- Another points to the list of where the submitted version can be placed, explaining it includes the author's personal website, institutional repository, or non-profit preprint servers.
- A third points to the notice text, explaining that the source must be cited and the link to the final published version must be provided.

著者個人のWebサイト  
機関リポジトリ  
その他非営利のプレプリントサーバ

出典を明記し  
出版社版のリンクを貼ること

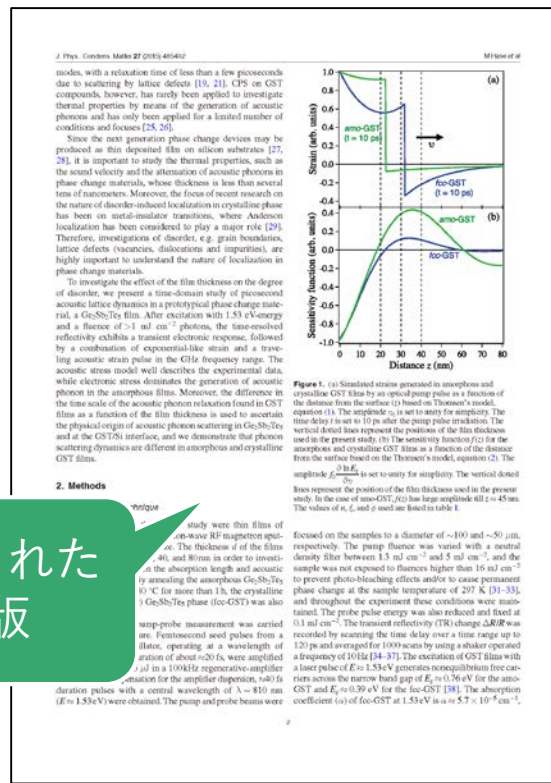
# 版によって転載可否が異なる



# 版によって転載可否が異なる

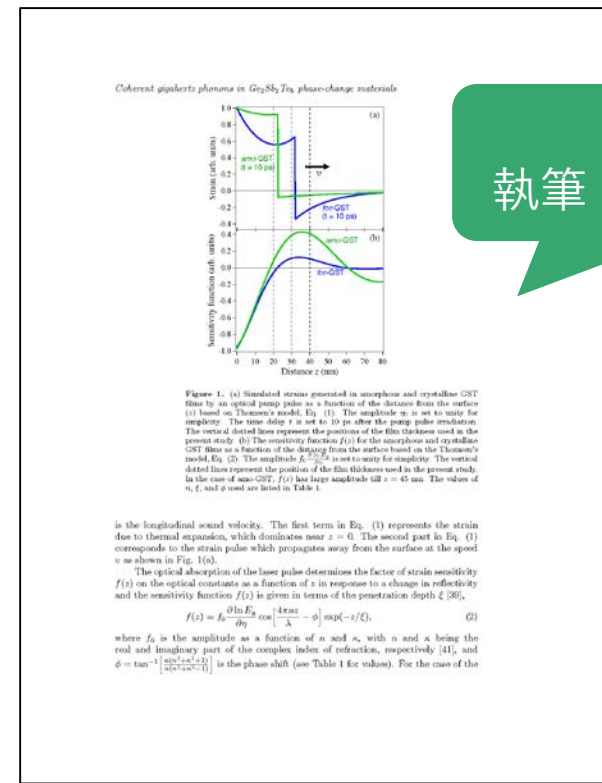
出版社版 (Publisher Version etc.)

著者版 (Author Version etc.)



雑誌に掲載された  
印刷用の版

同じだけど  
違うもの！



著者が  
執筆・提出した原稿

<https://doi.org/10.1088/0953-8984/27/48/485402>

<http://hdl.handle.net/2241/00134045>

# 著作権ポリシーデータベース

出版社や学協会によって著作権ポリシーは多種多様で、調査には多大な労力がかかる  
そんなときにお役立ちの2つのデータベース

- SHERPA/RoMEO
- 学協会著作権ポリシーデータベース (SCPJ)

SHERPA/RoMEO ... opening access to research

Home • Search • Journals • Publishers • FAQ • Suggest • About

Search - Publisher copyright policies & self-archiving English | Español | Magyar | Nederlands | Português

**Search**

☒ Journal titles or ISSNs ☐ Publisher names

☒ Exact title ☐ starts with ☐ contains ☐ ISSN

[Advanced Search](#)

Use this site to find a summary of permissions that are normally given as part of each publisher's copyright transfer agreement.

The RoMEO Journals database is supplemented with information kindly provided by:

- the [Zetoc](#) service, funded by Jisc with data provided by the British Library,
- the [Directory of Open Access Journals](#) (DOAJ) managed by Infrastructure Services for Open Access,
- the [Entrez](#) journal list hosted by the NCBI.

This work is licensed under [CC BY-NC-ND](#). [About using our content](#) [Privacy](#) • [Give Feedback](#) • [Contact us](#)

RoMEO Colour	Archiving policy
Green	Can archive pre-print and post-print or publisher's version/PDF
Blue	Can archive post-print (ie final draft post-refereeing) or publisher's version/PDF
Yellow	Can archive pre-print (ie pre-refereeing)
White	Archiving not formally supported

[More on colours and restrictions](#)

or [View all publishers](#)

学協会著作権ポリシーデータベース Society Copyright Policies in Japan

English / Japanese

学協会の方 図書館の方

| TOP PAGE | SCPJについて | 論文の著作権 |

**学協会の著作権ポリシーを調べる**

● **学協会名から検索**  
(学協会名の一部から検索できます。and検索が可能です) [詳細検索](#)

● **雑誌名から検索**  
(雑誌名、ISSN、NCIDの一部から検索できます。and検索が可能です) [詳細検索](#)

**学協会著作権ポリシー一覧**

- Green** 直読前・直読後のどちらでもよい
- Blue** 直読後の論文のみ認める
- Yellow** 直読前の論文のみ認める
- White** リポジトリへの保存を認めていない
- Gray** 検討中・非公開・無回答・その他

ポリシー別統計

登録学協会数 **2,618件**  
(うちGreen159件、Blue866件)

**新着情報**

2018/07/13 大学図書館研究 のデータを追加・修正しました。  
2018/07/09 Journal of Natural Disaster Science・自然災害科学 のデータを追加・修正しました。  
2018/07/02 Journal of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery・日本小児循環器学会雑誌 のデータを追加・修正しました。

**関連リンク**

SHERPA/RoMEO - Publisher copyright policies & self-archiving  
Journal Policies - Self-Archiving Policy By Journal  
日本学術会議 日本学術会議協力学術研究団体一覧  
『学会名鑑』Web  
セルフ・アーカイビングFAQ  
学術機関リポジトリ構築連携支援事業

**SHERPA/RoMEO 検索**

☐ Journal titles ☒ Publisher names

☐ Any or ☒ All keywords or ☐ Exact phrase only

**SCPJについて**

日本国内の学協会の機関リポジトリに対する論文掲載許諾状況が調べられます。  
>>> 検索結果の見方  
>>> APIについて

**アンケート送付・お問合せ**

オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト  
(代表機関: 筑波大学附属図書館)  
Email: [scpj@tulips.tsukuba.ac.jp](mailto:scpj@tulips.tsukuba.ac.jp)

ポリシー連絡用Webフォーム  
ポリシー連絡票ダウンロード  
Microsoft Excel版 / PDF版

RSS2.0

# 著作権ポリシーの色 : RoMEO colours

RoMEO colour	Archiving policy
Green	査読前・査読後論文ともアーカイブを認める
Blue	査読後論文のみアーカイブを認める
Yellow	査読前論文のみアーカイブを認める
White	リポジトリへのアーカイブを認めない
Gray*	検討中・不明

SHERPA/RoMEOで定めている著作権ポリシーの大まかな色分け  
SCPJでも採用している（GrayはSCPJのみ）

# ex.) 筑波大学の雑誌論文収集

全コンテンツにおける  
学術雑誌論文登録割合は  
全国平均は13.8%  
筑波大学は21.8%  
人手が多いからできることではあるが...

## DB調査

- Web of Scienceで筑波大学の研究者が著した最新の論文を調査
- 学内の研究者情報データベースを確認

## ポリシー調査

- 論文の著作権ポリシーを調査  
Green / Blue / Yellowの雑誌に掲載された論文を抽出

## 登録作業


- 出版社版のリポジトリ登録が可能な論文：電子ジャーナルからダウンロード
- 著者版のリポジトリ登録が可能な論文：教員に連絡し著者版をもらう








# リポジトリ担当者の業務（登録）

- 本文データ（PDF等）
- メタデータ
  - 著者名（漢字・カナ・英語）
  - キーワード
  - 抄録
  - 掲載誌情報
    - 掲載誌タイトル・巻号・ページ
    - 発行年月日
    - ISSN・NCID
  - 出版者
- DOI (Digital Object Identifier)

＜原著＞ローゼンバーグ自尊心尺度日本語版の検討 [利用統計を見る](#)

File / Name	License
9.pdf	
 9.pdf (557.46KB) [ 35084 downloads ]	

アイテムタイプ	Departmental Bulletin Paper
言語	日本語
著者	桜井 茂男
著者(ヨミ)	サクライ シゲオ
著者別名	Sakurai Shigeo
抄録	わが国でも欧米と同様に、自尊心(self-esteem:自尊心と訳されることもある)についての研究および自尊心をひとつの変数として用いた研究はじつに多い。こうした研究で頻繁に用いられるのが、Resenberg(1965)の自尊心尺度である。彼は自尊心を「ひとつの特殊な対象、すなわち(the self)に対する肯定的または否定的な態度」と捉えた。そして、このような自尊心 ...
雑誌名	筑波大学発達臨床心理学研究
巻	12
ページ	65 - 71
発行年	2000-01-25
書誌レコードID	AN1043864X
著者版フラグ	author
日本十進分類法	141.6
その他のタイトル	<Original Articles>Investigation of the Scale
その他の言語タイトル	ゲンチョ ローゼンバーグ ジソン カンジ...
NIIサブジェクト	心理学
出版者	筑波大学発達臨床心理相談室
その他の寄与者	筑波大学心理学系
資源タイプ	text

本文だけでなく  
付属する情報も入力することで  
データの視認性UP！  
検索しやすくなります

<http://hdl.handle.net/2241/11064>

# DOIとは

- Digital Object Identifier  
(デジタルオブジェクト識別子)
  - インターネット上のドキュメントに与えられる、恒久的・国際的な識別子
  - DOIディレクトリを経由させることで、リンク切れを回避する
  - 国際DOI財団に認定されたDOI登録機関 (Registration Agency, RA) が登録を行う
    - 日本のDOI登録機関 (RA) は「ジャパンリンクセンター」
  - 学術論文 (特に理系) でよく使われている

The DOI® System ISO 26324

Resolve a DOI Name

Type or paste a DOI name, e.g., 10.1000/xyz123, into the text box below. (Be sure to enter all of the characters before and after the slash. Do not include extra characters, or sentence punctuation marks.)

Clicking on a DOI link (try this one: <https://doi.org/10.1109/5.771073>) takes you to one or more current URLs or other services related to a single resource. If the URLs or services change over time, e.g., the resource moves, this same DOI will continue to resolve to the correct resources or services at their new locations.

DOI.ORG® In the News

[2016 IDF Staff Changes Announced](#)

[Internet Support Foundation \(ISF\) Joins IDF](#)

\*\*\*\*\*

DRIVEN BY doi® Enhance the value of your content. Join the DOI Community. [Watch a video, get the facts, and find out how.](#)

Updated January 10, 2017

contact@doi.org

doi®, DOI®, DOI.ORG®, and shortDOI® are trademarks of the International DOI Foundation.

[Privacy Policy](#) | [ACAS ENABLED](#)

The DOI System: <https://www.doi.org/>



# DOI付与のメリット

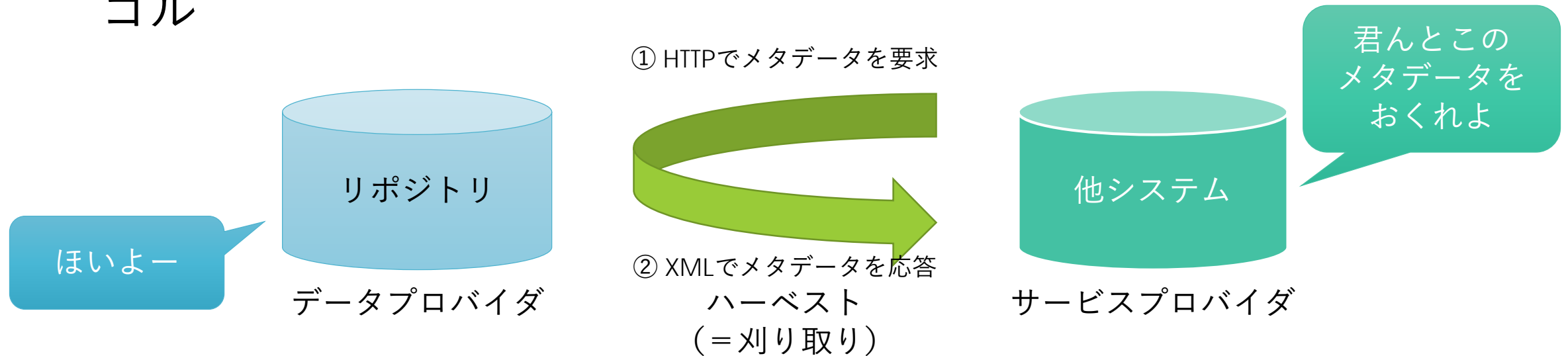
- 論文著者にとって
  - 自らの論文へのアクセスを容易に
  - 自らの論文を引用されやすくする
  - 他者の論文を引用しやすくなる
- 論文読者にとって
  - 確実に論文本文に到達できる
  - 引用・被引用リンクが容易にでき、関連文献へのアクセスの利便性が向上する
- 研究資金配分機関・大学管理者にとって
  - 教員の研究業績を評価しやすくなる



全世界へ研究を発信！

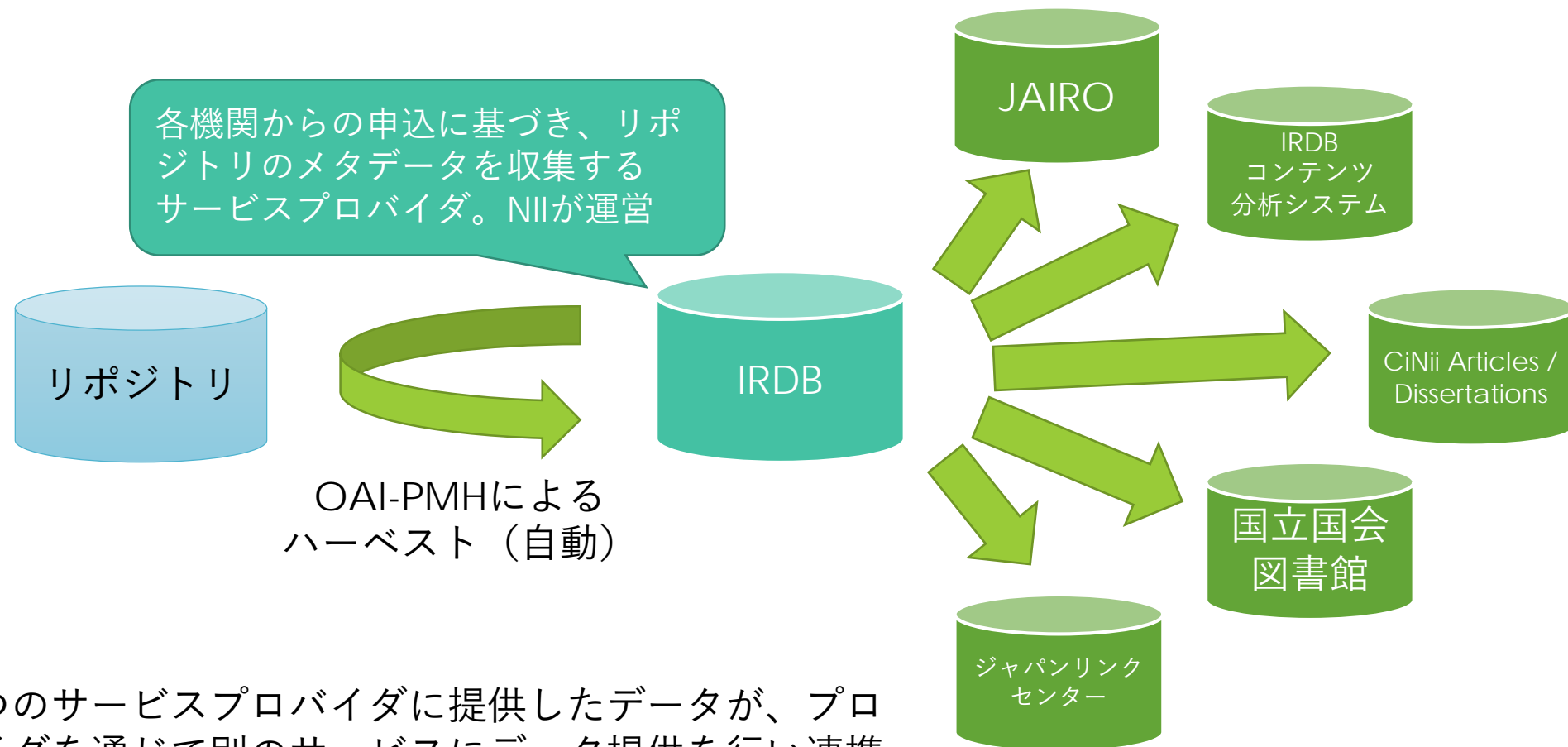
# OAI-PMH

- データの自動収集によってメタデータを交換するためのプロトコル



- 現行のデータフォーマットは“junii2”（廃止予定→2019年4月よりJPCOARスキーマ）
- 特定のアプリケーションに依存することなく自動的にメタデータを交換
- 本文ファイル（PDF等）はやり取りしない
- メタデータの変更、削除記録もハーベストされる

# IRDB（学術機関リポジトリデータベース）



一つのサービスプロバイダに提供したデータが、プロバイダを通じて別のサービスにデータ提供を行い連携している例。IRDBは日本の学術情報流通のハブ。

# リポジトリを支えるシステム

JAIRO Cloud

- 開発元：国立情報学研究所
- 博士論文のインターネット公表義務化（2013）以降利用拡大

E-repository

- 開発元：シー・エム・エス

DSpace

- 開発元：マサチューセッツ工科大学 & ヒューレット・パッカード社
- オープンソースソフトウェア

Earmas

- 開発元：ENU Technologies
- 中国・四国地方

# リポジトリ担当者の業務（まとめ）

## 対 学内研究者

- 理解の共有：広報と対話
- 論文公開勧誘
- フィードバック（アクセス統計等）


## 対 出版社・学協会

- 著作権調査・公開可否確認

## 対 機関リポジトリ

- システム管理
- 実際の登録・公開作業





# 日本の大学とリポジトリ

環境と政策

# 日本の機関リポジトリの動向

年次	できごと
2002	研究紀要公開支援（電子化）事業（～2008年度）
2004	学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト 千葉大学、機関リポジトリの運用開始（国内初）
2005	学術機関リポジトリ構築連携支援事業（～2012年度） →リポジトリ数増加
2012	JAIRO Cloudサービス開始 →小規模館のリポジトリ導入が可能に
2013	学位規則改正：博士論文のインターネット公表の義務化 →機関リポジトリの利用が推奨される
2016	研究紀要等の学術コンテンツ登録システムの提供終了 →利用機関はNII-ELSからJ-STAGEや機関リポジトリ等に移行

# 国内のリポジトリコミュニティ

オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト（SCPJプロジェクト、～2012）

各機関のリポジトリ担当者が集い、研修やプロジェクトを通じて協力することで「ヨコのつながり」を醸成

2006

2010

2013

2016

2018

デジタルリポジトリ連合  
(Digital Repository  
Federation, ~2017)

機関リポジトリ推進委員会  
(~2016)

オープンアクセスリポジトリ  
推進協会（JPCOAR, 現行）



# オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）

- 国公立大学図書館協力委員会 & 国立情報学研究所が連携
- 大学図書館職員も協力員として参加、多彩な活動
- <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

## 作業部会

- JAIRO Cloud運用
- 研修
- 広報普及

## タスクフォース

- 研究データ
- 研究者情報連携
- メタデータ普及
- 中長期計画検討
- SCPJ検討

# オープンアクセスの政策的動向

年次	できごと	内容
2011.8	第4期科学技術基本計画	<ul style="list-style-type: none"><li>• 大学や公的研究機関における機関リポジトリの構築を推進</li><li>• オープンアクセスを促進</li></ul>
2012.7	科学技術・学術審議会学術情報基盤作業部会（審議まとめ）	<ul style="list-style-type: none"><li>• 研究成果のオープンアクセス化については積極的に取り組むべき</li></ul>
2013.4	学位規則の一部改正	<ul style="list-style-type: none"><li>• 博士論文のインターネット公表を義務化</li></ul>
2015.3	国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会（内閣府）	<ul style="list-style-type: none"><li>• 公的研究資金による研究成果（論文、研究データ等）の利活用促進を拡大することを我が国のオープンサイエンス推進の基本姿勢とする</li><li>• 論文及び論文のエビデンスとしての研究データは原則公開</li></ul>

# オープンアクセスへの対応状況

## 日本学術振興会（JSPS）

- 科研費助成事業の制度改革
  - OAジャーナルのスタートアップ重点支援
- 助成した研究成果のOA推奨

## 科学技術振興機構（JST）

- 電子ジャーナルプラットフォーム“J-STAGE”によるOA支援
- DOI付与の促進
  - NIIと共同でジャパンリンクセンターを運営
- 助成した研究成果のOA推奨

## 国立情報学研究所（NII）

- 機関リポジトリ構築連携支援事業
  - JAIRO Cloud
- SPARC Japanの活動
  - 国際学術情報流通基盤整備事業
  - 年4,5回のセミナー開催

# 研究機関のオープンアクセス方針の策定

- 研究機関の研究成果発信についての方針を定めたもの
- 海外の動き
  - 研究助成機関のオープンアクセス方針（2006-）
    - アメリカ国立衛生研究所（National Institutes of Health, NIH）など
  - 個々の研究機関のオープンアクセス方針（2008-）
    - ハーバード大学など
- 国内の動き
  - 京都大学オープンアクセス方針（2015.4）
  - オープンアクセス方針策定ガイド（JPCOAR, 2017.2）
    - 国内のOA方針は「義務」でなく「推奨」に留まるレベルのことが多い

# 研究者の意識は？

## 出版社・投稿誌

- 投稿先の選定には、研究分野と適合していることやインパクトファクターが高いことが重要
- OAジャーナルであるかどうかは選定基準にならない
- 懸念：セルフアーカイブによるアクセス減少？



研究者

## 大学・研究機関

- オープンアクセス方針
- 業績評価

## 研究資金提供者

- OAの要請
  - 研究計画書への明記を求める場合も

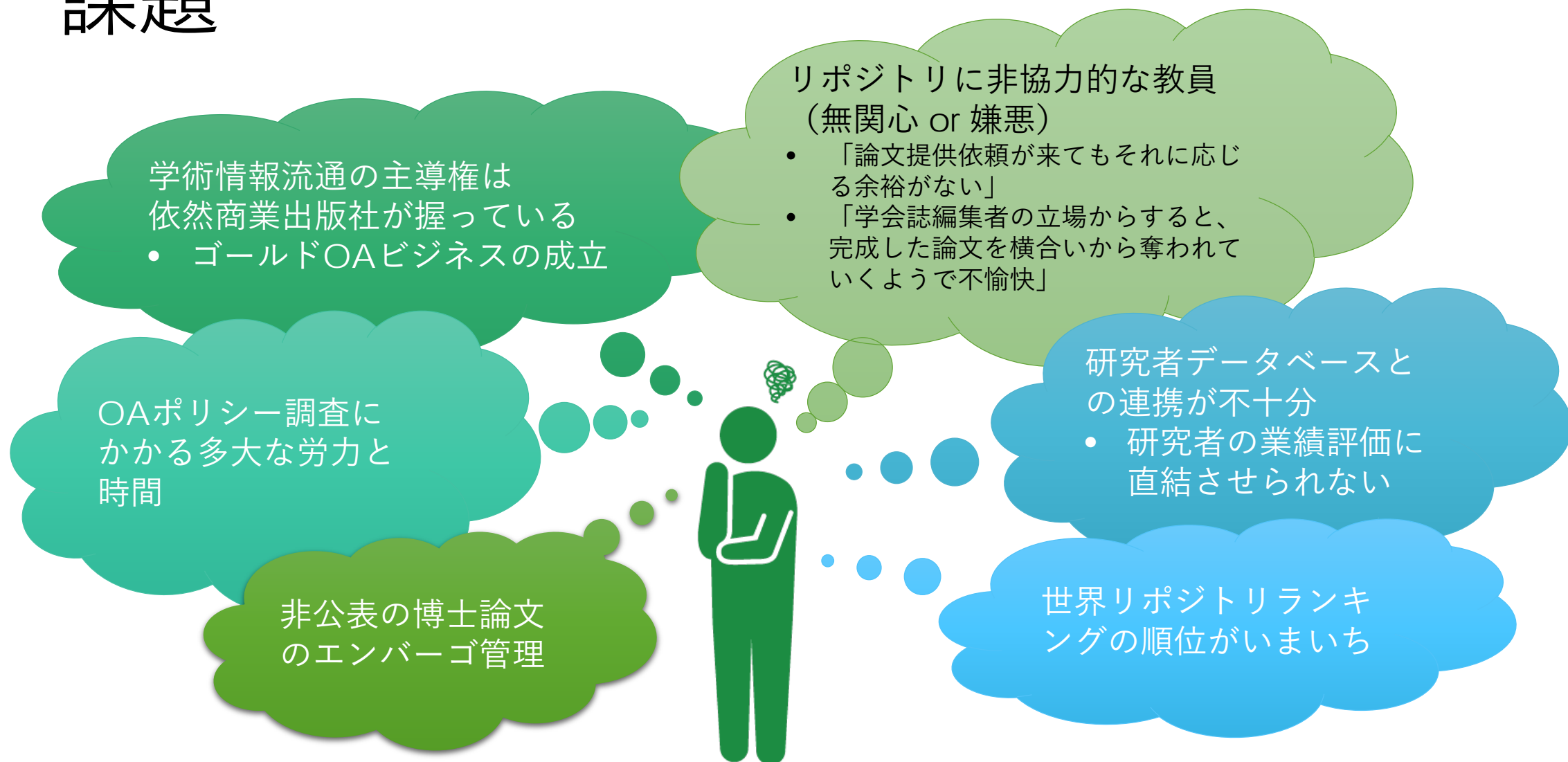
- オープンアクセスの重要性は認識としては浸透しつつある
- 資金調達や業績評価に直結しない限りは意欲は低いまま
- 査読つき学術誌＝アカデミズムの権威



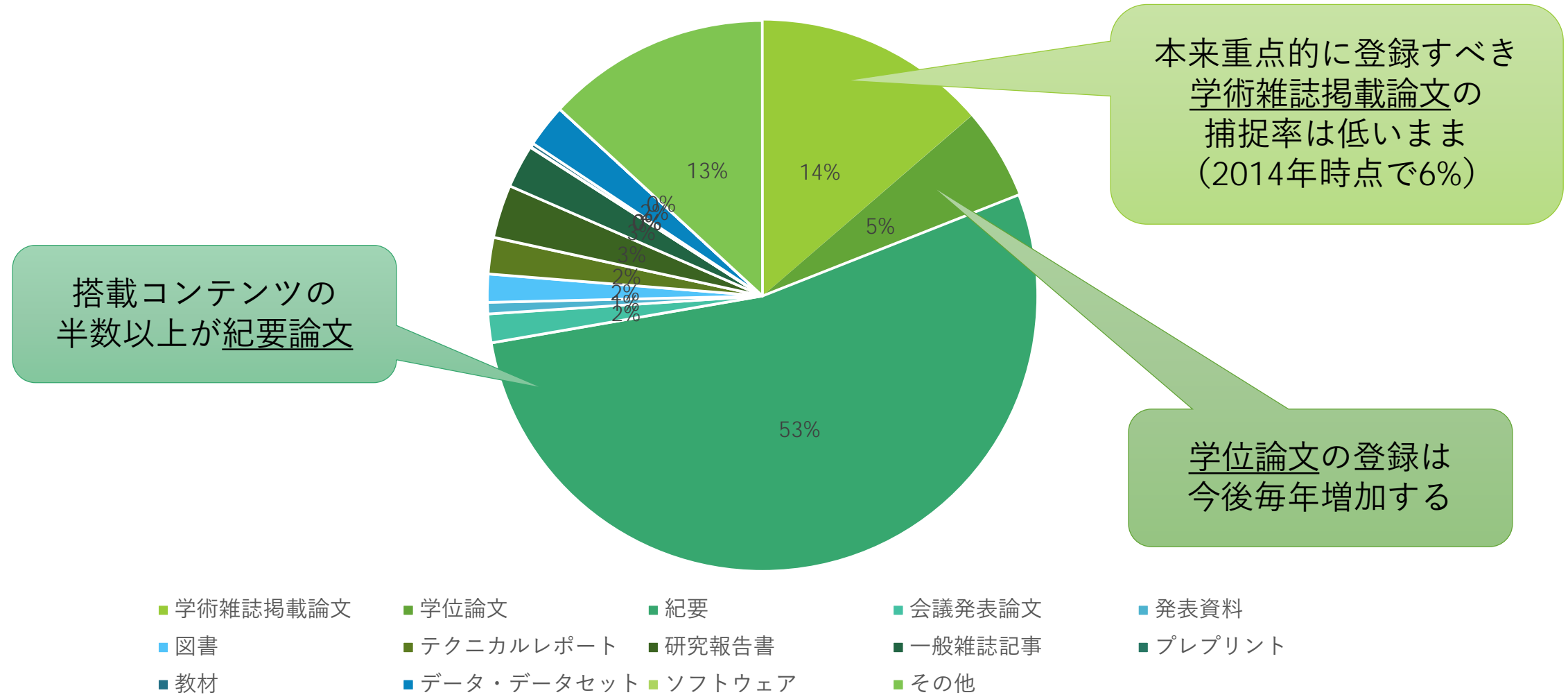
# 総括

現在の課題と今後の取組み

# 課題



## IRDBコンテンツ分析（2018年7月18日時点）





# 世界リポジトリランキング

- スペイン高等科学研究院（CSIC）によるランキング
- 1月・7月に順位公表
  - 現在はシステム不具合のためか表示されず...
- 2017年7月度ランキング：  
<http://repositories.webometrics.info/en>
  - 18位 京都大学
  - 85位 北海道大学



# それでも、リポジトリの可能性

灰色文献（紀要等）の  
電子化

科研費等公的研究資金に  
基づく研究成果の発表

学内研究の可視化

地域や特定分野  
のリポジトリ

電子化時代に図書館員  
の強みを生かせる  
フィールド

# 新たな課題：オープンサイエンス

- オープンサイエンスとは、オープンアクセスと研究データのオープン化（オープンデータ）を含む概念である。オープンアクセスが進むことにより、学界、産業界、市民等あらゆるユーザーが研究成果を広く利用可能となり、その結果、研究者の所属機関、専門分野、国境を越えた新たな協働による知の創出を加速し、新たな価値を生み出していくことが可能となる。また、オープンデータが進むことで、社会に対する研究プロセスの透明化や研究成果の幅広い活用が図られ、また、こうした協働に市民の参画や国際交流を促す効果も見込まれる。さらに、研究の基礎データを市民が提供する、観察者として研究プロジェクトに参画するなどの新たな研究方策としても関心が高まりつつあり、市民参画型のサイエンス（シチズンサイエンス）が拡大する兆しにある。近年、こうしたオープンサイエンスの概念が世界的に急速な広がりを見せており、オープンイノベーションの重要な基盤としても注目されている。

（内閣府、第五期科学技術基本計画、2016.1）

# 新たな課題：オープンサイエンス

- オープンデータ = (狭義) 研究データのオープン化
  - STAP騒動 (2014) 以降、研究データ (生データ) 公開の需要高まる
  - メタデータ、テキストレコード
  - イメージ、ビジュアルデータ etc...
- 研究データ管理 (Research Data Management, RDM)
  - システム開発
    - NII研究データ基盤 (管理・公開・検索) : <https://rcos.nii.ac.jp/>
  - データ提供機関 or 提供者のデータ使用条件の整備
  - 研究データサイクルに寄り添う
  - RDMトレーニングツール (JPCOAR, 2016)
    - <http://id.nii.ac.jp/1458/00000023/>

# 参考資料

- 新任担当者研修各回共通テキスト（JPCOAR, 2017年度）
  - [https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_opensearch&index\\_id=45](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?action=repository_opensearch&index_id=45)
- JAIRO Cloud コミュニティサイト
  - <https://community.repo.nii.ac.jp/>
- JPCOAR Newsletter: CoCOAR
  - [https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page\\_id=62](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=62)
- 文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会
  - [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/index.htm)

# これからリポジトリに携わる皆さんへ

## 著作権を意識しよう

- 論文本体の著作権
  - 著者・共著者
  - 学会・協会・出版社
- 論文内で引用されている他著作物の著作権
- 印刷物と電子媒体の違い

## 教員・他部署・他機関との協同

- 学内研究者
- 他部署職員
- リポジトリコミュニティ
- 課題解決はみんなで！



10/22～28は  
オープンアクセスウィークです！

<http://www.openaccessweek.org/>



ご清聴ありがとうございました！

[yumiko@tulips.tsukuba.ac.jp](mailto:yumiko@tulips.tsukuba.ac.jp)